



eSlate に関するよくある質問と回答

ハワイ州の補助機能付き投票システムについて

Q1. なぜ障害者用の補助機能付き投票システムが必要なのでしょう？

A1. 2002年10月29日、連邦法である「Help America Vote Act」が調印されました。これはアメリカ合衆国のすべての管轄区において、1つ以上の投票装置が各投票所に設置され、障害者が非公開で独立して投票できることを条件としています。これには、盲目の方、身動きが不自由な方、上半身の動きに制限がある方が含まれます。

Q2. ハワイ州ではどの補助機能付きシステムが採用され、どのように使用されますか？

A2. ハワイ州では確認可能な投票オプションがある Hart InterCivic 社の eSlate を使用します。



システム装置はプリンタ付の法律用箋（Legal Pad）サイズで、投票者は投票内容を用紙で確認できます。eSlate には形が異なるボタンやつまみが装置の下部についており、その上に全画面の表示画面があります。投票中はこのつまみを回し、選択する内容が青色にハイライトされると（ヘッドフォンを使用する場合は選択内容が聞こえたら）、ENTER というボタンを押してマークし、次の候補者に進みます。

投票の終わりには、Ballot Summary というページに選択した各候補者が表示されます。変更したい場合は変更し、CAST BALLOT というボタンを押すと投票内容の記録が印刷されます。ブース内で eSlate の左側にある装置の空白画面の下に印刷された用紙が出てきます。

そして、eSlate で印刷した投票者は投票を確認します。内容が合っている場合は、すべてのページが確認および承認されるまで、ACCEPT（承認）ページがハイライトされるまでつまみを回します。最後は、CAST BALLOT を押して投票プロセスを完了します（その他も変更したい場合は、Reject（拒否）ページをハイライト）。

投票者は表示（または音声）を、英語、中国語、イロカノ語、日本語から選択できます。

Q3. 障害がある投票者は、eSlate の操作にどのような入力装置を使用しますか？

A3. eSlate には音量調整ができるヘッドフォンが付いています。そのため、盲目の方や目や読書の不自由な方も、英語、日本語、中国語、イロカノ語を選択して聞くことができます。eSlate のボタンやつまみには、点字も付いています。



上半身の動きが不自由な方、またはスイッチよりもボタンやつまみの方が動かしやすい投票者は、この装置が好まれるでしょう。

四肢麻痺がある方は「sip and puff（息を吸って吐く）装置」をご使用いただけます。または、頭部用の装置がある車椅子をご利用の投票者は、スイッチを装置に配置できるため、頭部を少々動かすだけでスイッチが有効になります。



Q4. このシステムの正確さと安全性を、どのようにして知ることができますか？

A4. eSlate は数々の州政府や連邦政府が監督する安全性に必要な認定試験に合格すると共に、Symantec 社による独立した厳しい **Electronic Voting Systems Security Assessment** でも高得点をあげています。Hart 社の研究開発施設は、安全性のために指定され各社が達成を望む **BSI 7799** を獲得し（投票装置の提携企業のみ）、提携製造企業は **ISO 9001** の認定を受けています。

Hart 社の品質の良さに加え、ハワイ州では各選挙前に投票を確認するために投票システムのロジックと正確さのテストを行いました。**eSlate** を使用した投票は 5 つの場所で記録され、1 つは各投票者が確認して承認するペーパートレールです。

eSlate には停電でも投票を紛失しない不揮発性メモリがあり、磁界でも影響しません。また、装置にはバックアップ用に 18 時間の電池があります。投票者はマシンの起動に外部装置を挿入する必要はありません。

投票所にあるシステムはインターネットや外部の装置には繋がっておらず、投票集計プロセスは手続きに抑制と均衡がある安全な環境で行ないます。

地域の安全性を保つため、ハワイ州では選挙プロセスの最初から最後まで手続きをその場で行ないます。選挙は公共のプロセスであり、各政党からの公式の立会人がプロセスを監視します。

Q5. 他の管轄区でも、このシステムは使用されていますか？

A5. eSlate は過去 5 年間使用されています。テキサス州のハリス郡のような大きな管轄区や、190 万人の登録済み投票者がいるカリフォルニア州のオレンジ郡では 150 万人が、2004 年のハワイ州での選挙で行なわれたように、問題なくこのシステムを使用しました。テキサス州では 100 以上の郡でこのシステムが使われ、他にもワシントン州、コロラド州、オハイオ州、イリノイ州、ペンシルバニア州、バージニア州、ケンタッキー州、テネシー州で使用されています。

これらの管轄区で投票が紛失したことはありません。

Q6. eSlate を製造している会社について教えてください。

A6. Hart InterCivic 社は 1912 年から事業を行なってきました。当時から Hart 社では完全性と倫理観は常に事業の一環で、2004 年には「**Samaritan Center's Ethics in Business Award**」という賞を獲得しました。また、品質と詳細にこだわり、独自に Symantec 社から安全性の査定を受けており、研究に関しては **BSI 7799** の認定書や **ISO 9001** の基準に達した製造者と契約しています。

また、Hart 社は **eSlate** の補助機能において、**American Foundation for the Blind's National Technology** や **Employment Institute** など、障害者で構成される地方および全米規模の団体から高い評価を受けています。